

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-133	高等学校	外国語科	コミュニケーション英語 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183・第一	コ I・351	Vivid English Communication I NEW EDITION		

<p>1. 編修の趣旨及び留意点</p> <p>積極的に英語を使ってコミュニケーションをはかろうとする態度を育成し、これからの国際社会に生きる日本人として必要なコミュニケーション能力を養うことができるように配慮した。また、言語や文化に対する理解を深めると同時に、自分を取り巻く世界に広く目を向けることができるように留意した。それらのために、さまざまな内容の題材や言語活動の場を豊富に提供することを基調として編修した。</p>																		
<p>2. 編修の基本方針</p> <p>本書は、教育基本法第2条に示す教育の目標を達成するために、下記のような基本方針に基づいて編修した。</p> <p>(1) 各レッスンの題材は、生徒の興味や関心に適合するよう、生徒の日常的な次元に接点を置くものを中心に選定した。</p> <p>(2) 「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」を有機的に関連づけ総合的に学習できるよう、各レッスンの本文を手がかりに、それと連携したさまざまな活動の場を提供する構成とした。</p> <p>(3) 各レッスンのそれぞれのパートは、左ページに本文とその内容に関する活動、右ページに本文に出現する言語材料に関する活動を配置し、学習の便をはかった。</p> <p>(4) 設問等の指示を日本語と英語で併記したり、聞いたり読んだりした内容を英語で答える問題を積極的に設けることにより、生徒が英語に触れ、英語を積極的に発する場を豊富に設けた。</p> <p>(5) 高等学校での学習に円滑に移行できるよう、中学校段階で既習とみなされる言語材料についても積極的に取り上げてその定着をはかった。</p>																		
<p>3. 対照表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">図書の構成・内容</th> <th style="width: 50%;">特に意を用いた点や特色</th> <th style="width: 25%;">該当箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Lesson 1 You Can Do Something for the Olympics</td> <td>オリンピックの歴史についての知識を身に付ける (第1号)。 生徒自身の英語力がオリンピックのボランティアとして役立つ可能性があることに触れた (第3号)。</td> <td>p.20-27 p.20-27</td> </tr> <tr> <td>Lesson 2 Stories behind Names</td> <td>名前にまつわる逸話について理解する (第1号)。</td> <td>p.32-37</td> </tr> <tr> <td>Lesson 3 Look Cool on Your Streets</td> <td>日本のストリートファッションを世界に広めようとするシトウレイ氏の取り組みを知る (第2号)。 社会におけるブログの役割について理解する (第3号)。 我が国のファッション文化が世界で「クールジャパン」の象徴になっていることを紹介した (第5号)。</td> <td>p.44-49 p.44-49 p.44-49</td> </tr> <tr> <td>Lesson 4 Our Actions Can Make Electricity</td> <td>世界中に存在する環境問題について目を向ける (第1号)。 環境に負荷がかからない発電方法を紹介した (第4号)。</td> <td>p.54-61 p.54-61</td> </tr> <tr> <td>Lesson 5 Laughter Is the Best Medicine</td> <td>笑い与健康の関係について探求する (第1号)。 笑いが健康を増進させ、生命の維持にも資する可能性があることを知る (第4号)。</td> <td>p.68-73 p.68-73</td> </tr> </tbody> </table>	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所	Lesson 1 You Can Do Something for the Olympics	オリンピックの歴史についての知識を身に付ける (第1号)。 生徒自身の英語力がオリンピックのボランティアとして役立つ可能性があることに触れた (第3号)。	p.20-27 p.20-27	Lesson 2 Stories behind Names	名前にまつわる逸話について理解する (第1号)。	p.32-37	Lesson 3 Look Cool on Your Streets	日本のストリートファッションを世界に広めようとするシトウレイ氏の取り組みを知る (第2号)。 社会におけるブログの役割について理解する (第3号)。 我が国のファッション文化が世界で「クールジャパン」の象徴になっていることを紹介した (第5号)。	p.44-49 p.44-49 p.44-49	Lesson 4 Our Actions Can Make Electricity	世界中に存在する環境問題について目を向ける (第1号)。 環境に負荷がかからない発電方法を紹介した (第4号)。	p.54-61 p.54-61	Lesson 5 Laughter Is the Best Medicine	笑い与健康の関係について探求する (第1号)。 笑いが健康を増進させ、生命の維持にも資する可能性があることを知る (第4号)。	p.68-73 p.68-73
図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所																
Lesson 1 You Can Do Something for the Olympics	オリンピックの歴史についての知識を身に付ける (第1号)。 生徒自身の英語力がオリンピックのボランティアとして役立つ可能性があることに触れた (第3号)。	p.20-27 p.20-27																
Lesson 2 Stories behind Names	名前にまつわる逸話について理解する (第1号)。	p.32-37																
Lesson 3 Look Cool on Your Streets	日本のストリートファッションを世界に広めようとするシトウレイ氏の取り組みを知る (第2号)。 社会におけるブログの役割について理解する (第3号)。 我が国のファッション文化が世界で「クールジャパン」の象徴になっていることを紹介した (第5号)。	p.44-49 p.44-49 p.44-49																
Lesson 4 Our Actions Can Make Electricity	世界中に存在する環境問題について目を向ける (第1号)。 環境に負荷がかからない発電方法を紹介した (第4号)。	p.54-61 p.54-61																
Lesson 5 Laughter Is the Best Medicine	笑い与健康の関係について探求する (第1号)。 笑いが健康を増進させ、生命の維持にも資する可能性があることを知る (第4号)。	p.68-73 p.68-73																

Lesson 6 Take a Chance on You	疎外感を感じながら幼少期から学生時代を過ごした歌手アンジェラ・アキ氏が、ある言葉を契機として目標をもって自身の夢を実現するまでのストーリーを描いた（第2号）。	p.78-87
Lesson 7 Japanese Dishes from Abroad	フードマイルの考え方を通じて、世界中に存在する環境問題について目を向ける（第1号）。 フードマイル運動にともなって発生する社会問題に焦点をあてた（第3号）。	p.94-101 p.94-101
Lesson 8 The Sphinx in Danger	塩害が進むメカニズムを探求する（第1号）。 大スフィンクスの危機とわれわれ人間との関係を取り上げた（第4号）。 人間が脈々と引き継いできた遺産、伝統と文化について取り上げた（第5号）。	p.106-117 p.106-117 p.106-117
Lesson 9 A Bridge Between Japan and the U.S.	ALTとして熱心に日本の子供たちに英語を教えたテイラー・アンダーソン氏を取り上げた（第2号）。 東日本大震災において、自らの命を顧みずに子供たちの命を救おうとした氏を取り上げた（第3号）。	p.124-131 p.124-131
Reading Education First!	女性の人権、とりわけ教育の問題について考える（第1号）。 女性の人権や教育問題に取り組むマララ・ユスフザイ氏を取り上げた（第2号）。 パキスタンにおける女性の弾圧に真っ向から立ち向かった氏の正義の精神を知る（第3号）。 女性の人権や教育の問題をスピーチで訴えることにより、世界の社会的発展を目指している氏について知る（第5号）。	p.136-138 p.136-138 p.136-138 p.136-138

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・学校教育法第51条1号「国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと」、また、第3号「社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと」等の規定を踏まえ、各レッスンで紹介された人物や事象について、自分の立場であらためて考え、自らの考えや意見を表明する場である **Activity Plus** を各課末に設けた。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 担当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-133	高等学校	外国語科	コミュニケーション英語 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183・第一	コ I・351	Vivid English Communication I NEW EDITION		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- (1) 積極的に英語を学び、コミュニケーションをはかろうとする態度を育成し、英語による言語活動を行うことが授業の中心になるよう配慮した。
- ・巻頭に、授業中によく使われる **Classroom English** を掲載した。
 - ・設問の指示文などを日本語と英語で併記した。
 - ・各レッスンには、側注部や **Listen & Answer** に英問を設置し、本文内容について英語で答える場を豊富に設けた。
 - ・生涯にわたって自ら英語を学び、使おうとする態度を育成することを意図し、巻頭に辞書の活用法を記述した。
- (2) 「聞く」「読む」「話す」「書く」の四領域が総合的かつ統一的に育成されるように、各レッスンの構成を次のようにした。
- ・冒頭に、各レッスンの本文内容に関する語句や表現をチェックする **Get Ready** と、本文内容やテーマに関する会話を聞く **Listen Up** を設けた。本文の学習に入る前に、題材内容へのスキーマを活性化させることも意図した。
 - ・**Listen Up** は、英語の音声の特徴を含む箇所、内容上重要な箇所、話者の意見や感想を含む箇所を聞いて書き取る練習としたが、話者の意見や感想を含む箇所は生徒自身のそれを答えることも可能である。
 - ・本文は、内容のまとまりごとに概要や要点をとらえやすいように、前半課は 3 つの **Part** に、後半課は 4 つの **Part** に分割した。各 **Part** は、左ページを本文を中心としたページに、右ページを本文で出現する言語材料を中心としたページにした。
 - ・各レッスンの言語活動の中心・源泉となる本文の内容は、生徒の興味や関心に適合するよう、生徒の日常的な次元に接点を置くものを中心とした。
 - ・本文の側注部に配置した設問は、本文で得た内容について、口頭であるいは書くことによって答えることを意図した。
 - ・各 **Part** の右ページは、語や連語をまとめた **Words & Phrases**、文構造や文法事項をまとめた **Grammar**、それらの練習問題である **Exercises** からなる。
 - ・課末の **Reproduction** は、本文で得た内容のまとめとして、前半課は日本語で、後半課は英語で、要約を完成させる問題とした。
 - ・**Reproduction** に続いて、奇数課では **Sounds** を、偶数課では **Keys to Reading** を置いた。**Sounds** は英語の音声上の特徴をまとめたものであり、**Keys to Reading** はつながりを示す語句などをまとめたものである。
 - ・各レッスンの最後に置いた **Activity Plus** は、各レッスンの仕上げとして、本文で得た内容に基づいて自身の考えを書いたり話したりする活動である。
 - ・冒頭ページや本文ページには、写真や図版を大胆に配置した。内容の理解を補助するためだけでなく、それらが言語活動の中で積極的に用いられることも期待した。
- (3) 高等学校での学習に円滑に移行できるよう、中学既習の言語材料も積極的に取り上げたのと同時に、言語活動と関連づけて練習する場を豊富に提供した。
- ・巻頭の **Warm-up** に、基本的な文の型についての説明を置いた。
 - ・関係副詞・仮定法 (89・139 ページ)・分詞構文については、高等学校で初めて学習することを鑑み、段階的かつ負担の少ない形で取り上げた。分詞構文は **with** で始まる表現の中で導入した (106 ページ)。
 - ・**Focus on Grammar** を 5 箇所設け、それぞれの箇所までに出現した文構造・文法事項のまとめとその練習問題を設置した。練習問題は、対話を完成させる問題などを置き、形式に意を用いた。

(4) 「言語の使用場面」と「言語の働き」を有機的に結びつけた練習を特に意識した活動として、「Listen & Speak」を付録的に設置した。

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
辞書を活用し よう		英語に関する各科目に共通する 内容等2のア	p.8～9	1
Classroom English		(1)のア, (1)のイ, (2)のア	p.10～13	0.5
Warm-up		(1)のア, (1)のイ, (2)のア	p.14～17	2
Lesson 1	Listen Up 本文 Part冒頭リード文・側注部の英 問, Listen & Answer Words & Phrases, Exercises Grammar, Exercises Sounds Activity Plus	(1)のア, (1)のウ, (1)のエ, (2) のア, (2)のウ (1)のイ, (2)のイ, (2)のウ (1)のウ, (1)のエ 英語に関する各科目に共通する 内容等2のア 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ (2)のア (1)のウ, (1)のエ, 英語に関する 各科目に共通する内容等1の[言 語の使用場面]および [言語の働 き]	p.19 p.20・24・26 p.20・24・26 p.21・25・27 p.21・25・27 p.28 p.29	7
Lesson 2	Listen Up 本文 Part冒頭リード文・側注部の英 問, Listen & Answer Words & Phrases, Exercises Grammar, Exercises Keys to Reading Activity Plus	(1)のア, (1)のウ, (1)のエ, (2) のア, (2)のウ (1)のイ, (2)のイ, (2)のウ (1)のウ, (1)のエ 英語に関する各科目に共通する 内容等2のア 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ (2)のイ (1)のウ, (1)のエ, 英語に関する 各科目に共通する内容等1の[言 語の使用場面]および [言語の働 き]	p.31 p.32・34・36 p.32・34・36 p.33・35・37 p.33・35・37 p.38 p.39	7
Focus on Grammar 1		英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ	p.40～41	1.5
Lesson 3	Listen Up 本文 Part冒頭リード文・側注部の英 問, Listen & Answer Words & Phrases, Exercises Grammar, Exercises	(1)のア, (1)のウ, (1)のエ, (2) のア, (2)のウ (1)のイ, (2)のイ, (2)のウ (1)のウ, (1)のエ 英語に関する各科目に共通する 内容等2のア 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ	p.43 p.44・46・48 p.44・46・48 p.45・47・49 p.45・47・49	8

	Sounds Activity Plus	(2)のア (1)のウ, (1)のエ, 英語に関する 各科目に共通する内容等1の[言 語の使用場面]および [言語の働 き]	p.50 p.51	
Lesson 4	Listen Up 本文 Part冒頭リード文・側注部の英 問, Listen & Answer Words & Phrases, Exercises Grammar, Exercises Keys to Reading Activity Plus	(1)のア, (1)のウ, (1)のエ, (2) のア, (2)のウ (1)のイ, (2)のイ, (2)のウ (1)のウ, (1)のエ 英語に関する各科目に共通する 内容等2のア 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ (2)のイ (1)のウ, (1)のエ, 英語に関する 各科目に共通する内容等1の[言 語の使用場面]および [言語の働 き]	p.53 p.54・56・60 p.54・56・60 p.55・57・61 p.55・57・61 p.62 p.63	8
Focus on	Grammar 2	英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ	p.64~65	1.5
Lesson 5	Listen Up 本文 Part冒頭リード文・側注部の英 問, Listen & Answer Words & Phrases, Exercises Grammar, Exercises Sounds Activity Plus	(1)のア, (1)のウ, (1)のエ, (2) のア, (2)のウ (1)のイ, (2)のイ, (2)のウ (1)のウ, (1)のエ 英語に関する各科目に共通する 内容等2のア 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ (2)のア (1)のウ, (1)のエ, 英語に関する 各科目に共通する内容等1の[言 語の使用場面]および [言語の働 き]	p.67 p.68・70・72 p.68・70・72 p.69・71・73 p.69・71・73 p.74 p.75	8
Lesson 6	Listen Up 本文 Part冒頭リード文・側注部の英 問, Listen & Answer Words & Phrases, Exercises Grammar, Exercises Reproduction Keys to Reading Activity Plus	(1)のア, (1)のウ, (1)のエ, (2) のア, (2)のウ (1)のイ, (2)のイ, (2)のウ (1)のウ, (1)のエ 英語に関する各科目に共通する 内容等2のア 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ (1)のエ (2)のイ (1)のウ, (1)のエ, 英語に関する 各科目に共通する内容等1の[言 語の使用場面]および [言語の働 き]	p.77 p.78・80・82・ 86 p.78・80・82・ 86 p.79・81・83・ 87 p.79・81・83・ 87 p.88 p.88 p.89	9
Focus on		英語に関する各科目に共通する	p.90~91	1.5

Grammar 3		内容等2のイ・ウ		
Lesson 7	Listen Up	(1)のア, (1)のウ, (1)のエ, (2)のア, (2)のウ	p.93	9
	本文	(1)のイ, (2)のイ, (2)のウ	p.94・96・98・100	
	Part冒頭リード文・側注部の英問, Listen & Answer	(1)のウ, (1)のエ	p.94・96・98・100	
	Words & Phrases, Exercises	英語に関する各科目に共通する内容等2のア	p.95・97・99・101	
	Grammar, Exercises	英語に関する各科目に共通する内容等2のイ・ウ	p.95・97・99・101	
	Reproduction Sounds Activity Plus	(1)のエ (2)のア (1)のウ, (1)のエ, 英語に関する各科目に共通する内容等1の[言語の使用場面]および [言語の働き]	p.102 p.102 p.103	
Lesson 8	Listen Up	(1)のア, (1)のウ, (1)のエ, (2)のア, (2)のウ	p.105	9
	本文	(1)のイ, (2)のイ, (2)のウ	p.106・108・112・116	
	Part冒頭リード文・側注部の英問, Listen & Answer	(1)のウ, (1)のエ	p.106・108・112・116	
	Words & Phrases, Exercises	英語に関する各科目に共通する内容等2のア	p.107・109・113・117	
	Grammar, Exercises	英語に関する各科目に共通する内容等2のイ・ウ	p.107・109・113・117	
	Reproduction Keys to Reading Activity Plus	(1)のエ (2)のイ (1)のウ, (1)のエ, 英語に関する各科目に共通する内容等1の[言語の使用場面]および [言語の働き]	p.118 p.118 p.119	
Focus on Grammar 4		英語に関する各科目に共通する内容等2のイ・ウ	p.120～121	1.5
Lesson 9	Listen Up	(1)のア, (1)のウ, (1)のエ, (2)のア, (2)のウ	p.123	9
	本文	(1)のイ, (2)のイ, (2)のウ	p.124・126・128・130	
	Part冒頭リード文・側注部の英問, Listen & Answer	(1)のウ, (1)のエ	p.124・126・128・130	
	Words & Phrases, Exercises	英語に関する各科目に共通する内容等2のア	p.125・127・129・131	
	Grammar, Exercises	英語に関する各科目に共通する内容等2のイ・ウ	p.125・127・129・131	
	Reproduction Sounds Activity Plus	(1)のエ (2)のア (1)のウ, (1)のエ, 英語に関する各科目に共通する内容等1の[言語の使用場面]および [言語の働き]	p.132 p.132 p.133	
Reading	本文	(1)のイ, (2)のイ, (2)のウ	p.136～138	10

Reproduction Over to You	(1)のエ (1)のウ, (1)のエ	p.139 p.139	
Focus on Grammar 5	英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ	p.140～141	1.5
Listen & Speak 1	(1)のア, (1)のイ, (2)のア, 英語 に関する各科目に共通する内容 等1の[言語の使用場面]および [言語の働き]	p.142～143	2
Listen & Speak 2	(1)のア, (1)のイ, (2)のア, 英語 に関する各科目に共通する内容 等1の[言語の使用場面]および [言語の働き]	p.144～145	2
Listen & Speak 3	(1)のア, (1)のイ, (2)のア, 英語 に関する各科目に共通する内容 等1の[言語の使用場面]および [言語の働き]	p.146～147	2
Listen & Speak 4	(1)のア, (1)のイ, (2)のア, 英語 に関する各科目に共通する内容 等1の[言語の使用場面]および [言語の働き]	p.148～149	2
Listen & Speak 5	(1)のア, (1)のイ, (2)のア, 英語 に関する各科目に共通する内容 等1の[言語の使用場面]および [言語の働き]	p.150～151	2
List of Phrases	英語に関する各科目に共通する 内容等2のア	p.152	
List of Words	英語に関する各科目に共通する 内容等2のア	p.153～160	
		計	105